

# ドリームちゅうおう

5

DREAM CHUOH  
MAY 2020  
No.268



## 今月号のCONTENTS

- 02 特集
- 07 ~次代を担う~ & 旬感!きらり人
- 08 青壮年部・女性会の活動紹介 & 地域情報発信室
- 09 トピックス
- 14 新規採用職員紹介
- 15 JA information
- 16 直売所探検隊「あぐりポート琴浦」
- 17 あなたもチャレンジ!家庭菜園 & JAイベント情報
- 18 読者からのお便り紹介/川柳
- 19 旬を食べちゃおう!おうちごはん
- 20 クロスワードパズル

特集

# 第22回 通常総代会

# 第22回 通常総代会



開会のあいさつをする  
栗原隆政組合長



第22回通常総代会は、総代総数691人のうち、死亡等の資格喪失が9人、実総代数は682人で、本人出席が29人、委任状出席が0人、書面議決書が640人となり、出席総数669人で総代会が成立し、開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面による議決権の行使を総代の皆様にお願ひした形での総代会となりました。議長に倉吉市の福井康夫さんが選任され、定款の一部変更など19の議案が上程された結果、全ての議案が原案通り承認されました。また、「特別決議／持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けた取り組みに関する特別決議」も採択されました。

## 第22年度(平成31年2月1日から令和2年1月31日まで)事業報告 組合の事業活動の概況に関する事項

### 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

J A鳥取中央は、10年・20年先も愛されるJ Aをめざして、『農業愛』『人間愛』『中央愛』の3つの経営理念を宣言し、食と農を基軸とした地域に根差した協同組合づくりをめざした積極的な「創造的自己改革」により、みんなが誇れる農業の実現に取り組みました。

令和元年度は第7次中期経営計画の2年目にあたり、自己改革の3つの基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の更なる加速化と「事業の再編等選択と集中」「働きやすい職場環境の構築」「組織・経営体質の強化」を柱とした活動を実施することで、「持続可能な農業」「地域社会への貢献」「協同組合としての役割発揮」などの実現に向けた自己改革を進め、以下のとおり着実に取り組んでまいりました。

### 農業生産の拡大

- ①「J A鳥取中央・地方創生総合戦略」の継続(4年目)により産地基盤の拡大につながりました。
- ②多様な担い手の育成・支援の展開と出向く営農指導体制を確立しました。
- ③「農業人材紹介センター」による求職広告の掲載・活用および関係機関と連携し、労働力確保を図りました。

### 農業者の所得増大

- ①生産振興と販売対策に取り組み、168億5千3百万円の販売額となり、8品種で過去最高の販売単価を達成しました。(二十世紀梨、ぶどう、メロンなど)
- ②米は「集荷後価格決定方式」による早期精算を行い、生産者手取りの早期確定を実施しました。
- ③生産コストの低減対策として、統一銘柄による資材価格抑制と「資材価格設定委員会」を設置し情報公開と価格設定の見える化を図りました。

### 営農事業の再編等選択と集中

- ①営農部門の事業と機構を再編し、収支改善に努めました。
- ②畜産経営安定対策としてJ A独自セーフティーネット事業による、畜産経営の安定継続に取り組みました。

### 働きやすい職場環境の構築

- ①事業運営への貢献、職員の育成、公平な評価の実現を目的として、人事制度を改定しました。
- ②チャレンジ制度は、職員による「提案制度」や職員への「表彰制度」を実施しました。
- ③勤怠システムを導入し、職員の労働時間、残業時間を把握することで働き方改革を実践しました。

### 組織・経営体質の強化

- ①自己資本の基準(固定比率)改善計画に沿った取り組みと不稼働資産の処分等を実施し財務改善を図り、経営基盤の強化に努めました。
- ②自己資本比率の維持・向上に向けて剰余金の確保と内部留保に努めました。
- ③公認会計士監査に対応した内部統制システムを構築しコンプライアンス体制の強化に努めました。

### 地域の活性化

- J Aの総合事業やくらしの活動を展開し、地域の関係団体との連携を通じて協同組合としての役割を發揮しました。
- ①農業・食・協同組合への理解を深める学習・広報活動に取り組みました。
  - ②協同組合(農業・林業・漁業・酪農)で連携し地域貢献を図る「森と大地と海のスラム協定」により、相互交流を行いました。
  - ③J A名に「中央」と付く中国四国地方の5 J Aが連携する「J A中央サミット」へ参加・調印し、J Aと県域を越えた事業連携によるイベント等の農産物販売や人事交流を行いました。
  - ④農業メインバンクとして、出向く総合支援体制により農業経営相談や農業資金に応えました。
  - ⑤くらしの活動や様々な年代に向けた総合事業を展開し、地域コミュニティの活性化を支援しました。
  - ⑥地域の多様な暮らしを支援する「みらいサポート愛」は、地域や子どもの未来に貢献する活動に取り組みました。
  - ⑦支所を拠点とした「支所行動計画」を策定し、地域とのつながりを深める活動を展開しました。

## 議案並びに決議の要領

- |                  |  |
|------------------|--|
| 第1号議案            | 定款の一部変更について  |
| 第2号議案            | (定款附属書)総代選挙規程の一部変更について   |
| 第3号議案            | 規約の変更について  |
| 第4号議案            | 農地利用集積円滑化事業規程の廃止について   |
| 第5号議案            | 農業経営規程の変更について  |
| 第6号議案<br>(報告事項)  | 信用事業規程の変更について  |
| 第7号議案            | 令和元年度貸借対照表、損益計算書及び注記表並びにその附属明細書について  |
| 第8号議案            | 第22年度(令和元年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について  |
| 第9号議案            | 第23年度(令和2年度)事業計画の設定について  |
| 第10号議案           | 施設設置計画及び施設等資産処分計画の設定について   |
| 第11号議案           | 第23年度(令和2年度)経費の賦課及び徴収方法の決定について   |
| 第12号議案           | 第23年度(令和2年度)理事の報酬額の決定について  |
| 第13号議案           | 第23年度(令和2年度)監事の報酬額の決定について  |
| 第14号議案           | 退職する理事に対する退職慰労金の支給について   |
| 第15号議案           | 退職する監事に対する退職慰労金の支給について   |
| 第16号議案           | 第23年度(令和2年度)団体等に対する出資又は出金について  |
| 第17号議案           | 令和2年度産米の政府売渡し及び販売委託を組合に委任することについて  |
| 第18号議案           | 令和2年度産大豆及び麦の取り扱いを組合に委任することについて   |
| 第19号議案<br>(特別決議) | 令和2年度補助金の代理受領を組合が受任することについて<br>役員の選任について<br>持続可能なJA経営基盤の確立・強化に向けた取り組みに関する特別決議(案) |

## 主要事業の令和元年度実績

貯金平均残高	1,558億円
貸出金平均残高	247億円
長期共済保有契約高	5,229億円
長期共済新契約高(保障金額)	446億円
購買品供給高	53億円
販売品販売高	168億円

## 第22年度(令和2年1月31日現在)貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	148,766,799	1. 信用事業負債	154,537,366
2. 共済事業資産	21,189	2. 共済事業負債	640,689
3. 経済事業資産	3,979,558	3. 経済事業負債	2,350,602
4. 雑資産	1,251,370	4. 設備借入金	2,687,915
5. 固定資産	17,149,276	5. 雑負債	687,370
6. 外部出資	4,523,647	6. 諸引当金	1,160,029
7. 繰延税金資産	33,601	7. 再評価に係る繰延税金負債	1,758,104
		負債の部合計	163,822,077
		(純資産の部)	
		1. 組合員資本	7,769,392
		2. 評価・換算差額等	4,133,970
		純資産の部合計	11,903,363
資産の部合計	175,725,441	負債及び純資産の部合計	175,725,441

## 第22年度(平成31年2月1日から令和2年1月31日まで)損益計算書

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	3,641,934	事業管理費	3,490,001
信用事業総利益	1,011,763	事業利益	151,932
共済事業総利益	1,021,000	事業外損益差額	207,446
購買事業総利益	293,893	経常利益	359,378
販売事業総利益	476,682	特別損益差額	△299,775
保管事業総利益	4,093	税引前当期利益	59,603
利用事業総利益	643,525	法人税等合計	21,543
その他事業総利益	285,240	当期剰余金	38,060
指導事業収支差額	△ 94,265	当期末処分剰余金	332,284

※上記の決算書につき、さらに詳しい内容をお求めの場合は各支所組合員課へお問い合わせください。

## 第23年度(令和2年度)基本方針

J A鳥取中央は組合員とともに「必要とされるJ A」を目指し、自己改革・経営改革へ挑戦いたします。

1. 地域農業を振興するため、農業生産の拡大と農業者の所得増大を目指す自己改革の着実な実践
2. 環境変化に適応した事業の選択と集中に基づく経営基盤の強化と内部統制整備の構築
3. 働きやすい職場環境の構築による職場の活性化と組合員等への最大のサービス提供
4. 組合員(正・准)の事業運営への参加・参画による協同組合運動の強化及び組織基盤づくり
5. 教育・広報・情報・文化活動を通じた食農教育と地域の活性化

### 主要事業の令和2年度目標

貯 金 期末残高	1,550億円
平均残高	1,560億円
貸出金 期末残高	216億円
平均残高	223億円
長期共済 保有契約高	5,032億円
長期共済 新契約高(保障金額)	399億円
購買品供給高	38億円
販売品販売高	168億円

### 剰余金処分案

第22年度(令和2年1月31日)

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	332,284,686円
2. 剰余金処分量	219,308,915円
(1)利益準備金	25,000,000円
(2)任意積立金	176,000,000円
(うち特別積立金)	(50,000,000円)
(うち農業振興積立金)	(50,000,000円)
(うち食農教育積立金)	(1,000,000円)
(うち固定資産リスク調整積立金)	(75,000,000円)
(3)出資配当金	18,308,915円
3. 次期繰越剰余金	112,975,771円

# 鳥取中央 新執行体制スタート

4月27日の総代会において選任された新役員により同日理事会が開かれ、新たな執行体制について協議され、代表理事組合長をはじめとする6人の常勤役員が決定しました。



代表理事組合長  
栗原 隆 政

この度の任期満了に伴う役員改選により、二期目の代表理事組合長に選任いただき、決意を新たに誠心誠意努力して参りたいと思っております。

前期で合併20周年を迎え、「農業愛」「人間愛」「中央愛」という3つの愛に経営理念を一新し、自己改革として「農業生産の拡大」「農業者所得の増大」「地域の活性化」の3本柱を中心に取り組んで参りました。特に営農面では、農家の努力による高品質生産と高単価によりJA鳥取中央の過去最高シリーズが継続しており、新規就農者は増加しておりますが、離農者もあり生産基盤はほぼ変わりませんので、重要品目を設定し、生産拡大に向けて新たな地方創生総合戦略を策定し実践に移します。

我々が展開している協同組合運動において、重要な役割を果たしている職員が働きやすい職場環境の構築を旨としており、新人事制度の導入をもとに人材の育成を強化するとともに業務の改善と帰属意識の向上につなげたいと思っております。

組合員・農家の構成・意識が変化してきており、個人主義・新自由主義の風潮の中で今こそ協同組合活動の素晴らしさを重視すべき時であり、更に伝わる発信に注力します。SDGsなど国際社会からも協同組合活動が見直され、経営訓練の時代に入っておりますが、コロナにも打ち勝っていかねばなりません。

持続可能な経営体として、自己改革を支え継続すべく経営基盤の確立強化に向けて、経済事業改革、店舗ATM機能の再編、貸出を伸ばす為の貯金量の増大の3本柱を軸にして組合員との対話を重視しながら、将来に亘って総合事業機能を発揮して益々地域になくてはならないJAを構築したいと思っております。

一期目の反省を元に内部統制・ガバナンスを重要視しながら組合員に寄り添い、結集力が高まるJAを目指しこれまでの経験を集大成して難局に立ち向かってまいりたいと思っておりますので、皆様の格段のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



代表理事専務  
蔵 増 保 則

この度の役員改選において、代表理事専務に選任いただき就任いたしました。その職責の重さをしっかりと受け止め、誠実に任務を遂行してまいります。

JA鳥取中央の組織・事業運営における最大の課題は、農業・地域・JAの持続可能性を高めることであると考えます。人口減少・高齢化の進行が加速する中で、輸入農畜産物の増加は避けられない状況にあり、生産と消費の双方から農業経営を圧迫しています。経済成長重視の政府の姿勢は、農業政策において、規模拡大や効率性の追求、輸出の拡大等に重点が置かれ、家族経営の安定をはかり地域農業を振興するという基本がおろそかにされていると感じざるを得ません。こうした時こそ、地域に根ざした協同組合組織の力を発揮し、持続可能性を高めるJA改革を実践しなければなりません。

第1は、農業の持続可能性を高めることです。農地をはじめとする生産基盤を維持し、次の世代の農業経営体へ引き継いでいくことです。販売面では、市場・実需者・消費者とのパイプを太くし、農業所得の確保につなげていくことです。

第2は、地域の持続可能性を高めることです。地域インフラの拠点として、支所や営農センター機能を発揮し、地域の拠り所となることです。また、志を同じくする他の協同組合や地元企業、行政との連携強化が必要です。

第3は、JAの持続可能性を高めることです。経営面では、信用・共済事業の利益に依存しない体質に転換するため、営農関連事業の採算性を向上させる必要があります。さらに、職員が働き甲斐と誇りをもって職務遂行できる労働環境の整備も重要です。

最後になりましたが、全ての人が満足する改革はありません。目標に向かって、誰もが少しずつ痛みを分かち合い、力を結集して着実に進めることが、実のある改革につながると思っております。その実践の先頭に立つて取り組むことを、皆様にお誓い申し上げます。



代表理事常務  
戸 田 勲

この度の任期満了に伴う役員改選により、引き続き営農担当常務に選任をいただき就任いたしました。令和2年になり突如として新型コロナウイルスの感染が世界各地で発生しています。当然ではあります当JAにおいてもその対策に追われている状況です。特にこれから出荷される「ラッキョウ」「西瓜」等の販売対策は緊急的な対応が必要で業務継続計画の作成や生産現場での感染発症時における対策が求められています。また、JA経営の健全化に向けて自己改革を継続してまいります。今こそ、この困難に対して地域農業の大切さと国内食料生産の重要性について多くの皆様にご理解いただける時です。農業・農協運動を攻めの姿勢で取り組み守勢にならない農協運動を実践して行き、強い農家・農協組織づくりを目指して全力で邁進する所存です。どうか今後とも組合員・地域皆様のご支援、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表理事常務  
森嶋誠美

この度の任期満了に伴う役員改選により、金融・共済担当常務に選任いただき就任いたしました。浅学非才の身であり、その責務の重さに身の引き締まる思いであります。

2期6年間の非常勤監事の経験の中で、私なりに感じた問題点やその都度述べさせていただいた意見を確認しながら、実際の現場では何がその障害となっているのか検証し、職員と意見交換しながら引き続き改善に向けて取り組んで参ります。

金融事業においては、現在の事業環境の中で収益性の悪化が予想されますが、地域金融機関としての使命を果たすべく、大型農業経営体はもちろんのこと、小規模経営農家の営農資金や、組合員・地域住民の皆様の生活資金需要等についてこまめに情報をおたきながら、しっかりと対応できる体制整備を進めて参ります。

また共済事業においても、現在ご加入いただいている皆様に、時代の変化や家族状況の変化に対応したきめ細かな見直しをご提案させていただくとともに、新しいお客様へのアプローチにも積極的に取り組む、これまで築いてきたJA共済の信頼と優位性を訴求して参ります。

組合員の皆様のご指導とご協力をお願いし、ご挨拶といたします。



代表理事常務  
向井敏弘

この度の任期満了に伴う役員改選により、総務・企画管理・生活担当常務に選任をいただき就任いたしました。改めて責任の重さを感じているところであります。

現在、JA鳥取中央も自己改革・経営改革を進めておりますが、近年の信用・共済事業の収益低下により、事業計画の策定にも苦慮するようになってきています。特に営農・経済事業の改革は待ったなしであり、財務の健全化と収支の安定に努めることにより、協同組合としての役割を發揮していきたいと思っております。

そのためには、経営基盤の強化を進めるための人づくりが必要であり、育成・定着に向け「働き方改革」の実践検討を行ってまいります。

また、国が求める農協改革の中で、来年度には准組合員の事業利用規制の結論が出されることから、准組合員を地域農業の応援団と考え、事業への参加を通じて地域農業への理解を深めてもらいたいと思っております。今後とも組合員皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



常勤監事  
向井信博

4月27日の監事会において、引き続き常勤監事に選任されました。前期の監事監査を振り返りますと、代表監事を中心に各監事と協力しながら、各事業の執行状況・債権・労務管理など多岐にわたって監査を行い、一定の前進も見られました。が、内部統制の整備など改善を要する事項も多く認められます。

監事を取り巻く情勢が、農協法改正による会計士監査の導入、会社法に準じた会計監査基準の設定など急速に変化してきています。会計士監査が財務諸表の証明に特化したものになりつつある中で、監事監査は、JAが地域の中で必要とされる組織としてどのような活動を行っているかといった、組織の基本的な部分に焦点を当てて行かなければならないと思っております。

向こう3年間、各監事と連携を密にして、独立性を保持しながら組合員の立場に立脚して、実効性のある監査を実施していきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。



理事(学識経験者)  
亀崎幸子



理事(湯梨浜)  
中田洋一



理事(倉吉)  
上本 武



理事(倉吉)  
大江博文



理事(三朝)  
米原草太郎



理事(倉吉)  
藤原 治



理事(倉吉)  
林 修二



理事(倉吉)  
山崎正美



理事(琴浦)  
種子光幸



理事(琴浦)  
倉長邦彦



理事(琴浦)  
西脇 馨



理事(北栄)  
岡崎和彦



理事(湯梨浜)  
片山裕之



理事(湯梨浜)  
新川裕二



理事(倉吉)  
長田重博



理事(琴浦)  
齊尾謙一



理事(北栄)  
津川俊仁



理事(北栄)  
井川敦雄



理事(湯梨浜)  
濱田 淳



理事(琴浦)  
野田年仁



理事(倉吉)  
笠見 猛



理事(湯梨浜)  
藪 正堂



理事(北栄)  
石井通人



理事(倉吉)  
伊藤裕章



員外監事  
池田弘之



監事  
佐々木伸広



監事  
牧田英治



監事  
田中昌志



代表監事  
前田秀穂



青壮年組織代表  
淀瀬卓也



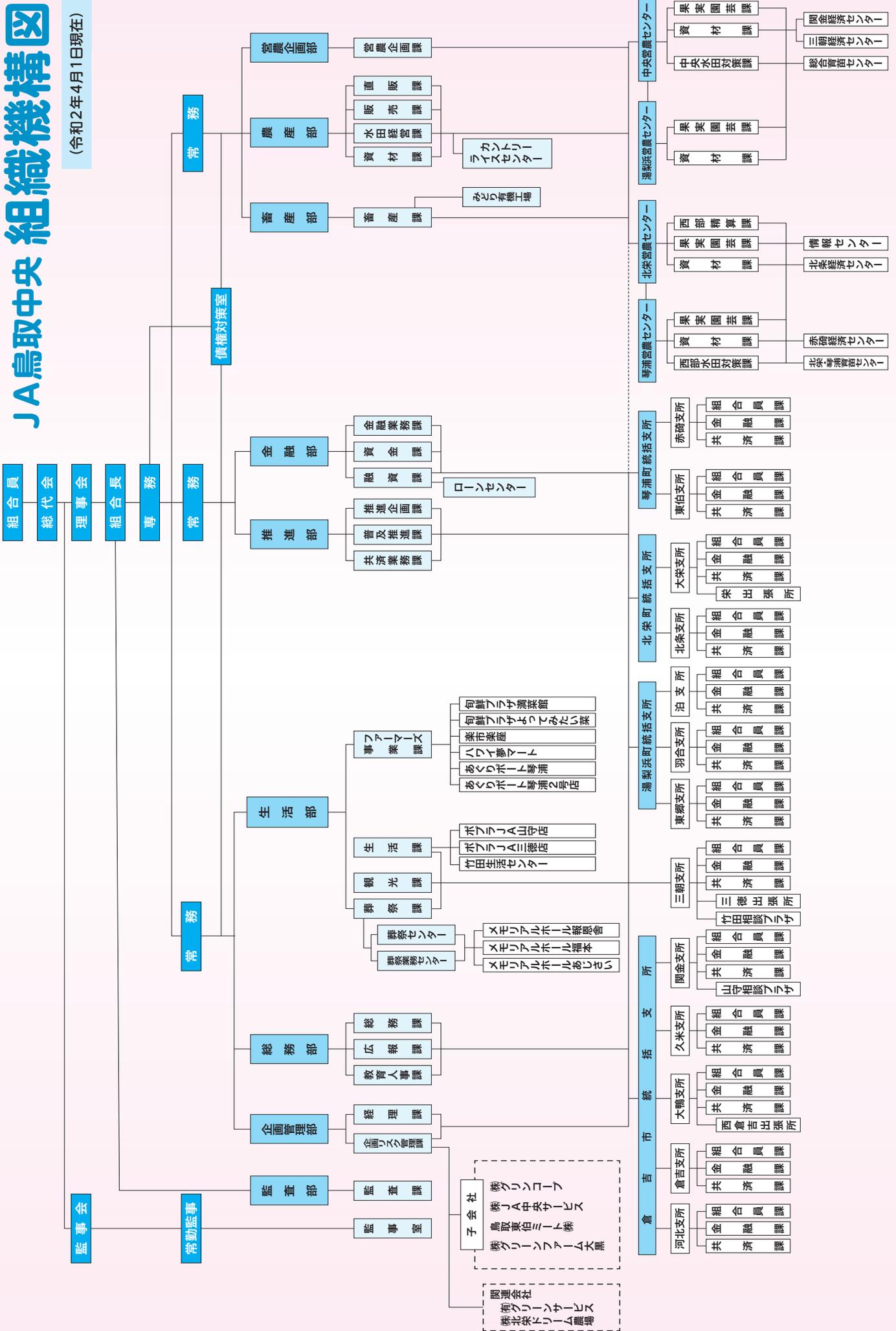
女性組織代表  
松田祥子



女性組織代表  
村岡幸枝

# J A鳥取中央 組織機構図

(令和2年4月1日現在)



# へ次代を担うへ

## 終わりのない農業をライフワークに

倉吉市 米生産者 <sup>あきやま</sup>秋山 <sup>まさはる</sup>正治さん(49)

今回ご紹介するのは、大阪出身の秋山正治さんです。東京で起業したI-T関連開発会社で17年間経営、開発に携わっていたという秋山さん。奥様の父、祖父が立て続けに他界した後、倉吉市で一人暮らしのお義母さんの元へ4年前に移住。45歳で奥様の実家へ戻るといって亡き義祖父との約束を果たし、念願の田舎暮らしを始めました。

最初はフリーランスでI-T関係の仕事を受託開発しながら、米の栽培を始め、現在は、専業農家として米4.5ha、キャベツ40a、スイカ30aなどを奥様と2人で栽培しています。「当初は前職の保有技術で農業ICT（情報通信技術）での起業を考えていましたが、高齢化、人口減少で農地の維持管理が難しいなど地域が抱える問題に直面し、このままでは将来、この地域で安心して生活する事ができなくなるかもしれない。そんな危機感がきっかけで地域に根差した農業を学び始めました」と当時の想いを話します。「農業の衰退は、地域の衰退につながり、一度失うと容易には再生できなくなる」という秋山さんの言葉に先人が築いたかけがえのない財産を守りたいという強い思いが感じられました。「大雨、台風など時には厳しくもあります

が、自然と触れ合いながら夫婦、家族で仕事ができるのはとても幸せな事。また生涯にわたって技術を習得、向上する事ができるのが農業の魅力ですね」と生産者として充実した日々を送る様子が伺えます。

今後の目標は「栽培技術、収量、品質の向上に努め、法人化、雇用による規模拡大を図り、次世代に継承可能な地域に密着した農業を目指したい。その上で、倉吉発のユニークな農業ICTシステムを世に送り出せたらと考えています。夢は壮大な方が楽しいですから」と話す秋山さん。近い将来、倉吉市が日本の農業ICTの先進地になっているかもしれません。これからの活躍に期待したいと思います。



東郷地区水田作協議会 会長  
横川 <sup>よこがわ</sup> 力さん(53)

東郷地区水田作協議会は農作業の受委託を通して組合員の農家経営の安定に努め、地域農業の発展に寄与しています。2020年度は役員改選し、新会長に横川力さんが就任しました。

横川会長は「東郷地区の各生産者から春作業の耕耘、代かき、田植え・コンバインによる刈り取り作業などの委託業務を行っています。耕作放棄地がこれ以上増えないようにという気持ちで日々取り組んでいます」と話されました。

同協議会では毎年安全講習会も開いており、「トラクターの農作業事故が増えてきたから農作業時の安全面には十分気を付けてほしい」といい、「受託作業が中心なので会員同士で協力しながら作業することが大切。会長として会員をまとめて運営していかなければと思います」と意気込みを話していただきました！

また、受託作業のほかに、梨80a、米70aを栽培している横川会長。農業をする上で大切なことは、「収穫時期には反省し来年に繋げていくことと、何でも実践して作業を楽しむこと」と話し、「子どもから、お父さんの作る梨が一番おいしい」と言ってもらえるとやはり嬉しいですね」と農業のやりがいと喜びも語っていただきました。



女性会

各支部の活動を  
紹介します!!

青壮年部



### 4/9 手作りマスクでコロナに勝つ!

女性会久米支部の役員4人は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による市販マスクの不足を受け、手作りマスクを製作しました。でき上がったマスクは久米支所の窓口職員にも配布し、今後も材料が調達できれば量産も考えていきます。

この日は、各自で材料をもちより、立体型マスクや、プリーツ型マスクなどを作成。鼻と頬の隙間を埋めるノーズワイヤーも農業用の結束バンドを使用するなど工夫を凝らしながら、型にそって切り取った布をミシンで縫い合わせていきました。



生地を測る様子



窓口職員もお似合いです☆

### 倉吉市支部 「結」(むすぶ)

~令和2年度JA鳥取中央青壮年部倉吉市支部キャッチフレーズ~

倉吉市支部は139名の盟友が所属する青壮年部組織で、9つの地区支部、3つの専門部から構成されています。各地区支部はもち米を栽培する傍ら地域との関わりを第一に考え、地域イベントへの参加や食育活動への取り組みを行っています。

今回は3つの専門部の中より、蔬菜部の活動を一部紹介します。

昨年は、小玉西瓜の品種勉強会や作付検討などの研修会、クボタの視察研修を行い、盟友の農業技術の向上を目指して活動しました。青壮年部に加入していない皆様のご加入を心待ちにしています。



小玉西瓜の勉強会の様子

## 地域情報 発信室



二十世紀梨をイメージして作られた「梨の精」は、JA本所総務部の入口に飾らせていただいています!

北栄町 <sup>はまもと</sup> 浜本 <sup>えみこ</sup> 恵美子 さん(67) (雅号: 翔鶴 <sup>しょうかく</sup>)

今回ご紹介するのは、北栄町在住の創作和紙人形作家、浜本恵美子さんです。浜本さんは和紙人形を作り始めて40年目。オーダーメイドでの制作や国内、海外で数々の作品展を開催するなど活躍は多岐にわたります。

和紙人形を作り始めたきっかけは「中西京子さんの本『和紙人形』と出会ったこと」で、「本に載っていた和紙人形を見た時、これが紙なの!? と衝撃をうけました」と話す浜本さん。小さい頃から綺麗な包装紙集めが好きでいつか紙に関わる仕事がしたいと思っていたこともあり、「作って習う価値がある! 人生一度きりだからどうせなら好きな事をしよう!」と思い立ち上京。中西京子先生のもとで5年間の修行を経て、北栄町に帰郷し現在に至ります。

和紙人形を作る時、初めから100%完成させず、90%くらいに留めておき、人形と対話しながらバランスを整え完成させていくのが浜本さんの制作スタイルだといいます。「人形が『私をどう仕上げてくれるの?』って話しかけてくるのよ」とキラキラ楽しそうに話す浜本さん。

「人形で人の心が和んだり穏やかな気持ちになったり…作品を通して気持ちが伝わると嬉しいですね」といい、「大病を患った時は人の弱さを知り優しい作品が作れたり大変な経験も糧にして作品に生かしています」と経験したこと全てが作品に影響を与え繋がっているそうです。

浜本さんは「紙を見るとワクワクする!! 自分の仕事に自信を持ち迷いが無いからスランプはなかったです。今後は、完成は4~5年先にはなると思うけど、令和の美しい時代を表現したいですね。令和の時代を生きる人達の心を穏やかにする作品が必要だと思います」と新たな目標を語ります。

工房には数多くの和紙人形が飾られており、見れば見るほど奥深く浜本さんの世界観に惹きこまれ、また浜本さんのお人柄にも癒しをいただいた取材となりました。



## 3/30 各地区開薬センターで人工授粉用の花粉を作成

J A 鳥取中央管内の梨花粉開薬センターでは、3月下旬から4月中旬にかけて梨「二十世紀」の人工授粉用の花粉作成作業が行われました。

「二十世紀」は、自家受粉では実がつかないため、他の梨の花を手作業で交配する「人工授粉」で行います。開薬は、およそ室温25度、湿度40%程度に保たれた部屋で行います。生産者が交配用に採取した生薬（雄しべの先にある花粉の袋）をクラフト紙に広げて管理し、約24時間後に人工授粉用の花粉ができ、発芽率を調べたあと生産者に渡していきます。

東郷果実部の開薬センターでは、新規採用職員が研修の一環として作業に当たりました。



花粉を包装する新規採用職員たち

湯梨浜営農センター

## 4/16 大原トマトの出荷の季節が始まりました!

倉吉市で栽培されている「大原(おはら)トマト」の初出荷式を開きました。

今年は、昼夜の温度格差が大きく、甘くて美味しいトマトに仕上がりました。

「大原トマト」は無加温で半促成栽培を行い、長い時間をかけて栽培、熟成させ甘いトマトに仕上がっています。うまみ成分であるグルタミン酸の含有量は日本栄養・食糧学会の定める基準値の1.5倍程度となっています。



「大原トマト」選果の様子

出荷最盛期は5月下旬から6月上旬までで、県内を中心に出荷します。

今年は6人が93.1aで栽培、2万3,500箱(1箱=4kg)、4,500万円の出荷、販売を目指します。

中央営農センター

## スイカの交配順調

特産物の一つ、スイカの交配が順調に進んでいます。

スイカの交配は、ミツバチ交配が主流ですが、琴浦町東伯地区で主に栽培される黒皮スイカ「琴浦がぶりこ」は、交配専用種または一般的な品種の雄花を一つ一つ手で交配させていきます。琴浦西瓜生産部では今年、12戸の農家が5.4haで栽培します。

同部の實藤光指導部長は67aで栽培しており、「交配はスイカの質を決める大事な作業の一つ。今後の作業、管理も丁寧にいき今年もおいしいスイカを消費者に届けたい」と話し、一花ずつ丁寧に作業に励んでいました。



丁寧に交配する實藤さん

琴浦営農センター

## 長芋・「ねばりっこ」の植え付け順調

特産品の一つ、長芋と県独自品種「ねばりっこ」の植え付けが順調に行われています。

長芋生産部では、109戸の農家が、「ねばりっこ」29.58ha、長芋6.44haで栽培します。

「ねばりっこ」は、むかごの状態から1年かけて育てた小芋を、約27cm間隔で地中から約10cmの深さに植え付け機で植え付け、収穫は10月下旬頃を予定しています。

同部の今田浩朗販売部長は、「ねばりっこ」を90aで栽培しており「2020年産は天候にも恵まれ作業は順調に進んでいる。今年もおいしい長芋と「ねばりっこ」を消費者のもとに届けていきたい」と意気込みを話していました。



植え付けを行う今田さん(右)と妻の智子さん

北栄営農センター



## 3/25 倉吉農業高校 米コンテスト最高金賞獲得に向け始動!

鳥取県立倉吉農業高校の食品科・流通コースの有志で結成される「うまい米作り隊」は、全国の米の食味を競う2020年度「お米日本一コンテスト」で最高金賞獲得に向け動き出しました。

同校は、昨年度の同コンテストで高校生初の金賞を受賞! 全国農業高校お米甲子園でも5年連続で金賞を受賞するなど、鳥取県を代表する農業高校として、県産米のPRに大きく貢献しています。

2020年産米は、米「縁結び」を倉吉市のほ場6aで栽培。今年新たに、カニの殻からとれる成分「キトサン」を活用した「有機微生物農法」に挑戦します。原料は特産品のズワイガニの殻を使用。カニの殻の主な成分「キチン質」は多糖質で、地中の微生物の優良な餌になることから有用な微生物の繁殖を促し土壌を改善する働きがあります。

主に栽培を担当するのは、馬田雄大さん(17)と長田未来さん(17)。3月25日には、カニの殻と元肥を散布



カニの殻を丁寧に散布する馬田さん(左)と長田さん(鳥取県倉吉市で)

シトラクターで耕運。カニの殻は1a当たり1kgを手で散布しました。将来、米農家を目指す馬田さんは「農家になる夢を叶えるための第一歩として、コンテストで最高金賞を獲れる“日本一の米”を目指して1年間栽培に取り組んでいく」と意気込み話しました。

## 4/7~8 大型特殊免許技能講習会



技能講習の様子

JAグループ鳥取は倉吉市で大型特殊免許(農耕車限定)技能講習会を開きました。倉吉市の県立農業大学の専用コースで、期間中に3期、計6回、72人の技能講習と技能試験を実施します。

昨年12月に国の制度が改正され、農作業機械を含め、車両の幅1.7mを超える車輛は、大型特殊免許が必要となりました。JAグループ鳥取は農業者などを対象に免許取得への支援を充実することで、円滑な営農活動を続け生産性の向上につなげます。

第一期は、県内から816人の応募があり、抽選により選ばれた12人が技能講習を受けました。

## 4/10 葬祭課がAED講習会を行いました



心臓マッサージの手本を示す真庭さん

葬祭課はメモリアルホール「報恩舎」でAEDの講習会を行い、19名の葬祭関係職員が集まりました。

葬祭課では、葬儀等業務中の万一の事態に備えて、「報恩舎」と「あじさい」にAEDを設置しています。AEDの使用法を含めた救命手当の流れについて、フクダ電子AED専任担当の真庭賢二さんから「119番通報から救急車が現場に着くまで平均8分50秒かかります。心臓マッサージを行い5分以内にAEDを使う事が大事です」と指導を受けました。葬儀の現場には高齢者が多く集まるケースもある事から、職員は真剣な表情で心臓マッサージ等の講習に取り組みました。



「源五兵衛西瓜」を定植する山本部部长

J A鳥取中央奈良漬小玉西瓜部会が栽培する、加工用小玉西瓜「源五兵衛西瓜」の定植が4月24日から始まりました！5月1日までに1,040本を植え付けます。

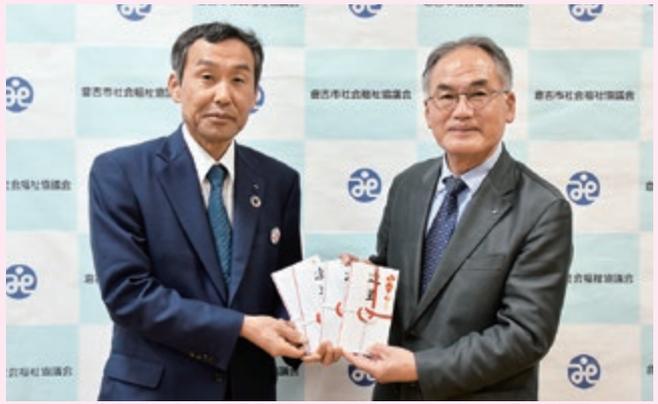
「源五兵衛西瓜」はJ Aが販売する湯梨浜町泊地区の特産加工品「とまり漬」の原料となる漬物用の小玉スイカです。

出荷は6月上旬から8月下旬頃まで続く予定です。2020年度は14戸が141 aで栽培します。

同部会の山本雅部会長(65)も8 aで「源五兵衛西瓜」を栽培。初日は、40本の苗を定植しました。山本部部长は「今年は豊作に期待し、部会全員で頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

4/24  
加工用小玉西瓜「源五兵衛西瓜」の定植が行われました！

## 4/13 倉吉市社会福祉協議会に農畜産物引換券贈呈



引換券を手渡す栗原組合長(左)と受け取る坂本会長

J A鳥取中央は「みらいサポート愛」の取り組みの中で、子ども食堂への食材や、直売所等で使える農畜産物引換券の提供を行っています。

この日は、同J A栗原隆政組合長から倉吉市社会福祉協議会の坂本操会長へ農畜産物引換券を手渡ししました。同会を通じて、市内の4つの子ども食堂に贈られます。新型コロナウイルスの影響で、一時休止しているところもありますが、栗原組合長は「日持ちする米や、調味料の購入に使ってほしい」と話しました。

2020年度も昨年に引き続き、年7回の贈呈を予定しています。

## 4/13 組合長が意見交換会を行いました！



意見交換会の様子

J Aの栗原隆政組合長は、加工用小玉西瓜生産者の山本雅さん(57)とほうれん草生産者の浦川明也さん(43)からJ Aへの意見や要望などの聴き取りを行いました。

山本さんからは「新規就農者の確保とその取り組み」、「情報発信の強化」、浦川さんからは「ビニールハウス再建の費用や活用可能な補助制度」などについて、それぞれの現状を基に意見交換が行われました。

栗原組合長は「計画的に物事を進め、更に充実した支援を目指していく」と話し、これらを今後の取り組みに反映させていくことを伝えました。

この活動は、組合員との対話の充実と信頼の強化を図るため、これからも継続的に行われる予定です。

## 女性会北条支部が『家の光』8月号「JA女性組織まんがルポ」に掲載されます！



給食会員、竹信会長、事務局勢ぞろいです！

北条支部学校給食会が3月に行った“学校給食用食材の大根を切り干し大根に加工して提供”した取り組みが『家の光』8月号「JA女性組織まんがルポ」に掲載されることになりました。

4月にTV電話での取材が行われ、給食会の活動内容や、取り組みにける思い、全体の女性会組織の活動については竹信啓子会長から家の光の記者に伝えました。

お知り合いの女性会員がまんがの中で登場するかも!? 『家の光』8月号、どうぞ期待ください！

## 梨「二十世紀」順調に生育中!



交配を行う唐崎さん

鳥取県を代表する梨「二十世紀」の生育が順調に進んでいます。

露路梨「二十世紀」は、4月7日頃から15日頃にかけて交配作業が行われ、生産者は一花ずつ丁寧に交配作業に汗を流しました。今年は、暖冬の影響で例年よりも4、5日早い作業開始となりました。

湯梨浜町で「二十世紀」や「新甘泉」などを計70aで栽培する唐崎大義さんは、「おいしい梨を作るのは当たり前という意識で栽培に取り組んでいる。形がきれいで大きく立派な梨を全国の消費者に届けていきたい」と笑顔を見せていました。



丁寧に収穫作業を行う地域おこし協力隊の石川聖磨さん(30)

イチゴの出荷最盛期!  
 (株)北栄ドリーム農場)

管内のイチゴの出荷が最盛期を迎えています。

(株)北栄ドリーム農場では、「紅ほっぺ」80aと県オリジナル品種「とっておき」3aを栽培しています。収穫は6月上旬まで続き、県内のJA直売所や県内市場、菓子メーカーの不二家に出荷します。

今年は日照量も確保され、例年通り甘くておいしいイチゴに仕上がりました。同農場では、主に県内出荷のため、軸まで赤くなった完熟状態で収穫。出荷ピークの現在は9人体制で朝6時半から収穫し、1日におよそ1,400パックを出荷しています。

3/27

## 栗原隆政組合長が全中の農業協同組合功労表彰を受けました!



表彰を受ける栗原組合長

この度、農業協同組合中央会が選ぶ、令和元年度「農業協同組合功労表彰者(緑綬)」にJAの栗原隆政組合長が選ばれ、3月27日に行われた鳥取県中央会臨時総会で表彰されました。

この賞は、成績優秀な農業協同組合で、かつ長年農業協同組合の発展に功労があった役職員が表彰されるものです。栗原組合長は、就任後「地方創生総合戦略」、の実践や、「JA農業人材紹介センター」の設置、「大栄西瓜」のGI登録による農家の所得増大への後押し等が評価されました。

4/14

## (株)北栄ドリーム農場の新ファーム長に井川敦雄さんが就任しました!



井川ファーム長(左)と栗原組合長(右)

JAと北栄町が共同して設立した(株)北栄ドリーム農場の新ファーム長に井川敦雄さんが就任しました。

同農場は、2016年から取り組む「JA鳥取中央・地方創生総合戦略」の柱の一つとして、イチゴの団地化に取り組んでいます。戦略的園芸団地整備事業を活用してイチゴハウスを設置。I・Uターンの受け入れとしては地域おこし協力隊員の制度も利用し、担い手の確保にもつなげています。

井川さんは「安心安全で、おいしいイチゴをたくさんのお客さんのもとに届けていきたい」と意気込みを話していました。

## 4/10-13 各地区で水稻播種式を行いました！



各センターセレモニーの様子(4月10日 総合育苗センター)(4月13日 東伯育苗センター)

各地区で水稻播種式を行い、2020年度の水稲作業の始まりを祝うとともに、健苗育成と作業安全を願いました。総合育苗センター、東伯育苗センターともに、セレモニーとして水稻育苗箱にJA役職員が種をまき、参加者全員で乾杯。両センターとも県オリジナル品種米「星空舞」の育苗数も順調に増え、以下の播種計画で進めていきます。

施設	品種数		播種回数	供給箱数	供給開始日
	主食用米	飼料用米			
総合育苗	4品種	1品種	23回	21万400箱	4月18日～
東伯育苗	4品種	3品種	19回	3万9,269箱	4月28日～

## 4/14 Aコープ利用者懇談会



意見交換会の様子

J A鳥取中央と㈱Aコープ西日本は、倉吉市でAコープせきがね店、下北条店、トピア店、赤碕店の4店舗合同の第1回Aコープ利用者懇談会を開きました。

Aコープ利用者の意見や要望を直接聞き、商品や価格などを店舗運営に反映させ、地域に必要とされ愛される店づくりを目指すことを目的としています。

懇談会は、利用者懇談会委員やJA役職員、㈱Aコープ西日本役員ら約40人が参加。利用者懇談会委員は、Aコープ利用者であり各Aコープ店舗から推薦された代表者です。

懇談会では参加者から商品の品揃えや価格についてなど活発な意見が出されました。

3/26

## 大嘗祭献穀事業献穀者へ 知事感謝状贈呈式



記念撮影をする藤井さん夫妻ら

鳥取市にある知事公邸で、令和元年度「大嘗祭」献穀事業献穀者への知事感謝状贈呈式が行われました。

令和元年11月に今上天皇の皇位継承に伴い行われた「大嘗祭」で無事精米が供納されました。その労をねぎらい、今年度献穀事業に取り組んだ献穀奉仕者の藤井勝美さん、久野さん御夫妻に、平井伸治知事より感謝状が贈呈されました。

その後、令和元年度献穀事業の報告を行い、式典終了後は知事公邸の見学を行いました。

私のひとこと!



J A 鳥取中央グループの

# 新規採用職員を紹介します!



金融部資金課  
尾崎 恵悟  
「善く生きる!」



生活部 ハワイ夢マート  
前田 海奈  
「常に笑顔で頑張ります!」



中央営農センター果実園芸課  
山根 亘  
「緊張しない」



湯梨浜営農センター果実園芸課  
藤井 規仁  
「落ち着いて、積極的に」



北栄営農センター果実園芸課  
白下 凌  
「我武者羅」



倉吉支所 共済課  
中村 友哉  
「努力する!!」



大鴨支所 共済課  
井上 嵩也  
「日進月歩」



久米支所 組合員課  
遠藤 潤  
「成長する!」



東伯支所 共済課(複合渉外)  
高田 祐太郎  
「努力、続けます」



企画管理部 企画リスク管理課  
加賀 康之  
「努力致します」



生活部葬祭課 葬祭センター  
藤池 潔  
「一期一会」



倉吉支所 金融課  
矢田 留理子  
「笑顔で頑張る」



赤碓支所 金融課  
山根 忍  
「笑顔で頑張る」



鳥取東伯ミート  
秋葉 翔矢  
「コツコツ努力」



鳥取東伯ミート  
高木 弘太  
「努力無敵」



鳥取東伯ミート  
山本 壮  
「力戦奮闘」



鳥取東伯ミート  
戸杉 海斗  
「一期一会」



鳥取東伯ミート  
藏 重里奈  
「日々是精進」



鳥取東伯ミート  
佐藤 美月  
「一生懸命やる」



鳥取東伯ミート  
中村 菜  
「日々努力」

相続定期貯金

# 想いやり

金利変更のお知らせ

お取扱期間:

令和2年4月20日(月)～令和3年1月29日(金)

ご家族から受け継がれた大切な資金を特別な金利でお預かりいたします。

定期貯金  
金利

適用金利 **0.3%** 預入期間1年(自動継続)

対象者

相続手続完了後1年以内に相続により資金を受け取られた方で、当組合に該当資金をお預入いただける個人の方。

ご注意ください

- 定期貯金の特別金利の適用は当初お預入期間のみとします。(満期後は自動継続とし継続日における店頭金利を適用いたします。)
  - 中途解約の場合は当JA所定の貯金種類による中途解約利率を適用いたします。
  - 当JAの他の金利上乘せ項目とは重複いたしません。
- ※詳しくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。

- ◆契約金額:100万円以上
- ◆預入期間:1年(自動継続)

JA中央サービスからのお知らせ

## エアコンも ガス屋に おまかせ!



ダイキンバックアップキャンペーン



理想の空間へ  
2019 NEW MODEL

気流を制御して、  
夏も冬もこちよ空間



株式会社JA中央サービス LPガス課  
倉吉市福吉町2丁目1588-2 TEL0858-47-0220

農作業事故にご注意!

春の農繁期はトラクターなどの農業機械で作業を行う機会が増え、農作業事故が多くなる時期となっております。また、気温の上がる5月頃から熱中症による事故の発生も多くなり、農業就業者の高齢化にともない、より一層の安全意識と注意喚起が重要となっております。

重点注意事項をいくつか挙げておきます

- 事前に危険な場所や作業をチェックし危険箇所のマーキングや作業の注意点を確認しましょう。
- 作業前には機械の点検を行い少しでも不具合箇所があれば、そのまま使用せず、お近くの農機センター、事業所で点検整備を受けましょう。
- 作業時にはヘルメット、シートベルトの着用、機械には安全キャブ、フレームを利用しましょう。
- 農業機械で道路の走行する場合には夜間の追突事故を防止する為、「低速車マーク」や「反射テープ」を装着しましょう。
- 春先より気温も上昇し始めます。この時期は身体が暑さになれていない為、多少の暑さでも熱中症にかかりやすくなっています。こまめな水分補給・休憩に心掛けましょう。

あわせて「農機具盗難にも注意!」

- 作業後は農機具をは場に放置しないようにしましょう。
- 機械にカギをさしたままにしないようにしましょう。
- 作業後はカギのかかる屋内や倉庫などに保管しましょう。
- 不審者(車両)を見つけたら110番通報を。

株式会社JA中央サービス 中央農機センター 28-3270 湯梨浜農機センター 32-0713  
琴浦農機センター 53-2653 三朝農機事業所 43-1831  
北栄農機センター 37-3322 赤碓農機事業所 55-1411

### 理事会報告

提案事項は原案どおり承認されました。

第3回(令和2年3月31日(火)開催)

- 1) 令和元年度本決算及び剰余金処分子案の修正について
- 2) 令和2年度収支計画について
- 3) 定款の一部変更について
- 4) 定款付属書 総代選挙規程の一部変更について
- 5) 規約の一部変更について
- 6) 農地利用集積円滑化事業規程の変更について
- 7) 農業経営規程の変更について
- 8) 職制規程の一部変更について
- 9) 機構改革に伴う規程等の一部変更について
- 10) 職員給与規程の改定について
- 11) リスク評価書の定例改正について
- 12) 令和2年度賦課金の徴収方法について
- 13) 令和2年度補助事業等による施設設置計画について
- 14) 令和2年度不良債権の処理方針について
- 15) 債権直接償却について
- 16) 第22回通常総代会の開催について
- 17) その他

## JAの子ども共済「学資応援隊」が ママリロコミ大賞 3期連続で大賞を受賞!!

ママリロコミ大賞とは

ママ向けに、1アプリ「ママリ」がユーザーを対象に「本場を買ってよかった」と思う商品・サービスについて、アプリ内で口コミを奨励し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。  
※2019年3月インテージ調べ 調査対象:妊婦9~2歳0ヶ月の子供を持つ女性(n=1,084)

3期連続受賞!!

JAの子ども共済「学資応援隊」  
ママリロコミ大賞

2020年 学資共済部門 大賞

「子ども共済」資料請求 キャンペーン 応募期間 2021年3月26日(金)まで

Web限定  
先着  
**60,000**  
名様

「JAのはじめて共済」サイトから「子ども共済」の資料をご請求いただいた方に  
**JA共済オリジナルグッズプレゼント!!**

「JAのはじめて共済」サイト  
**はじめて共済** 検索  
<https://shiryo.ja-kyosai.or.jp>

※当キャンペーンの賞品は、1家庭につき1名と取り限りのものです。ご了承ください。※賞品は抽選により選ばれる場合がございます。※賞品取りの権利を他人に譲渡したり、売却や交換したりすることはできません。※パソコン通信回線を利用した通信の途絶や、インターネット接続が不安定な状態にある場合は、お問い合わせください。※当キャンペーンは、JAの共済事業の発展を促進する目的で実施されています。当キャンペーンやご加入に関するご質問は、お近くのJAへお問い合わせください。

[20312500126]

詳しくは、お近くのJA支所共済課までお問い合わせください。 **JA共済**

新型コロナウイルスにかかる  
イベント延期のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のイベントの延期をお知らせいたします。ご理解いただきますようお願いいたします。  
生活部:ときめきファッションフェア 金融部:JA鳥取中央年金友の会グラウンド・ゴルフ大会

# 直売所探検隊



## あぐりポート琴浦

KOTOHIRA

東伯郡琴浦町別所243

TEL/55-6336 定休日/なし

営業時間/9:00~18:00



## お客様の「美味しい!」は魔法の言葉

ふじいひろやす のりえ  
琴浦町八橋 藤井宏康さん(72) 典江さん(65)

今回ご紹介するのは、あぐりポート琴浦に白ネギや野菜を出荷されている有機農産物「藤井農園」の藤井宏康さん、典江さんご夫婦です。藤井さんは後継ぎとして農業を始めて20年以上。最初はスイカやトマト等を栽培していましたが、有機農業に興味を持ち独学で取り組みを始められたそうです。「有機は栽培の基本を習得して、あとは自分でやってみるしかない。今でも試行錯誤の連続ですね」と語る宏康さん。化学合成された肥料や農薬を使わない有機栽培のため除草や防虫に追われるだけではなく、厳格な検査を行う県の有機農産物の認証(JAS規格)を受けるため書類等の手続きも大変なのだそうです。そんな苦勞の末

に作られる藤井さんの白ネギは、東京にある県のアンテナショップで紹介されて大人気! 並み居る関東ネギを抑えレストランで使われたり、デパートから注文を受ける業者に納品しているそうです。農業の魅力を伺うと「有機にはマニュアルがないので大変だけど、良いものができてお客様から声をいただく事かな。生産者にとってお客様の『美味しい!』は魔法の言葉だね。その一言で苦勞や疲れを忘れてしまうよ」と朗らかな笑顔を見せます。典江さんに美味しい食べ方を伺うと「キャベツの代わりに刻んだネギと卵にねばりっこを混ぜて作るお好み焼きですね。健康食品のネギを大量に食べて免疫力を上げましょう」との事。今後の目標を伺うと「白ネギの栽培面積を増やす事と、少量でも他の野菜も有機で育ててみたいね。直売所もポップなど作って盛り上げてくれると嬉しいね」これからも夫婦仲良く頑張ってください! 応援しています!

あぐりポート琴浦には栄養豊富な旬の野菜がいっぱいです! 健康のためにも美味しい野菜をぜひお買い求めくださいませ。



藤井農園の美味しい白ネギ



栄養満点! 新鮮野菜!



### おまかせしました!

# 「大原トマト」

## 好評発売中!!

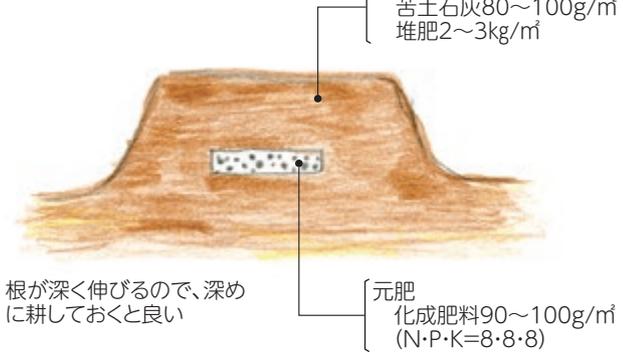
いよいよ待ちに待った大原トマトの販売です!!  
毎年大人気の大原トマトをぜひご賞味ください。



# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 サトイモ

サトイモの原産地はインド、中国で南方民族が移動するとともに日本へ渡来したと言われてしています。古代から作られた野菜といえます。高温多湿を好み、一般に25～30℃が生育適温です。イモの形成には22～27℃が適温とされます。乾燥には弱く、干ばつの年には不作で品質も悪くなります。熱帯地方では、多年生のサトイモも、日本では1年生です。イモの頂芽が発芽して伸び、葉のつけ根が太って親イモになり、親イモのわき芽に子イモができます。

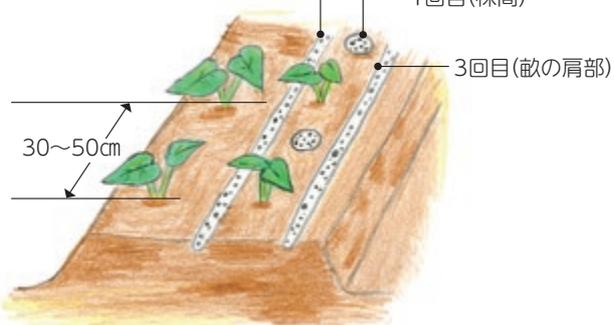
## 畑の準備



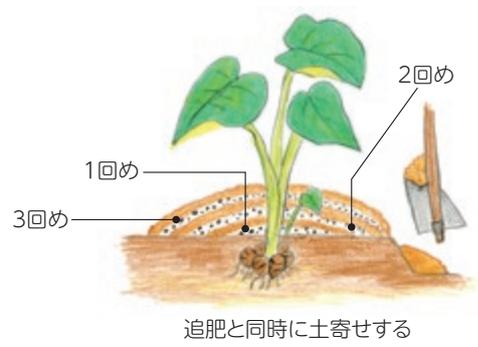
## 植えつけ



## 追肥・土寄せ



本葉2～3枚ころ1回め、本葉5～6枚ころ2回め、6月下旬に3回めの追肥、化成肥料(N・P・K=8・8・8)40～50g/m<sup>2</sup>を施す。一度に多量に施すと肥あたりするので、こまめに少量ずつ施す。



# JAからのお知らせ

JA鳥取中央版

## 第7回『就農相談会』

毎月第2水曜日開催

日時: 令和2年6月17日(水)  
13:30～16:00

JA鳥取中央本所 3階会議室  
(倉吉市越殿町1409)

農業に興味のある方、就農を考えている方、  
お気軽にお越しください!

※相談会の参加には開催日から10日前までに事前申し込みが必要となります。JAのHP、各支所、各営農センター、直売所、市役所、役場等に申込用紙があります。

※新型コロナウイルスの影響で5月13日(水)の就農相談会は中止になりました。6月についても中止になる可能性があります。

## 表紙の写真説明



今回の表紙は、女性会東伯支部の加工グループ「キッチンサークル」の皆さんです^^! 「キッチンサークル」は、なんと創立20年以上! 現在は9人の会員で、主に「手作りケチャップ」と「焼き肉のタレ」を作り、直売所で販売しています。ケチャップに使用するトマトはもちろん、ニンニクや玉ねぎなど、使用する材料のほとんどを会員自ら栽培し、地産地消でおかつ安心安全。ちょっぴりスパイシーなトマトケチャップは県外のリピーターもいるほどの人気ぶり! 食パンに塗ってピザトーストに、カレーの隠し味に、と使い方もいろいろなんだとか♪ ぜひ見かけたなら手に取って下さい♡

# 読者からの お便り紹介

今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題

あなたの  
1番の心配事

を教えてください。

るようで、貯金もしないといけない感じですよ。  
(ガメラさん)

■春になり虫が出てくるようになり、外での作業が心配です。家族には虫より私の方が恐いと言われています。  
(まろんこさん)

■子供達の事ですね。3人いてそれぞれもう社会人ですが、やはり「いつまでも子は子」。そつと見守る事しかできませんが、健康で幸せに人生を送ってもらつ事を願います。  
(松ぼっくりさん)

■リタイア後の人生後半、まよいまよい今日も1日くれています。  
(のうさん)

## 【次号のお題】

「あなたが楽しみにしている事」

という事で、次号のお題は「あなたが楽しみにしている事」を大募集です。たくさんのお便りをお待ちしております。

■最近、食欲がすごくてお腹周りが心配です。春だからですかねー？  
(Y・Sさん)

■地震は予測なしでやってくる。中部地震は震源地だったので、強く心に残っています。  
(やじつほつさん)

■一番心配なことは、年金がもらえるかどうかです。払っていただくとおっしゃっていますが不安です。払ってきた年金が勝手に使われてい

# 投稿者からの声

○家庭菜園を少しやっていますが、肥料のやり方が書いてあり良かったです。  
(みっちゃんさん)

○(4月号の)表紙がアットホームな感じで良かったです。  
(コトウラの雨ガエルさん)

○身近な直売所が取り上げられており親しみを感じた。  
(アッチ子さん)

○「おうちでごはん」はヘルシーで毎回楽しみます。  
(らんちままさん)

○クロスワードパズルをいつも楽しみにしています。  
(シンちゃんさん)

○それぞれの地域の情報がより身近に伝わります。  
(茜さん)

# 暮らしのうた川柳

## 課題「涙」

鈴木 公弘 選

- 新型コロナ殿の急死に涙する  
倉吉市 高多 和弘
- 涙腺が年増すごとにゆるくなる  
琴浦町 安岡 久子
- 来た道は涙なしでは語れない  
湯梨浜町 亀谷 泰子
- これでよいつらい思いを消す涙  
倉吉市 石田 稔子
- 頼みごと涙目をして媚びている  
北栄町 西村奈保子
- 咲いて涙散って涙の春うらら  
湯梨浜町 川口 亜矢
- あがり症チャンス逃して涙のむ  
倉吉市 山崎恵美代
- 人情を突かれドラマに涙する  
湯梨浜町 和田 三郎
- 子育てへひとり親です涙湧く  
倉吉市 山松みち子

## 【今月の佳句】

老いる日の涙もろくてまた零れ

倉吉市 堀 かずこ

(評) 過去を懐かしむようになると涙もろくなる。幻想を追って走っても疲れを知らなかった若い日々。喜怒哀楽をくぐり続けた壮年期。還暦を過ぎて老境を味わうようになった今日。走馬灯はあの日のこの日を映し出す。その一コマ一コマが骨と血肉を造ってくれた。広島に生まれながら縁あつて鳥取県民になった。ここまでの歩みをふり返って、いま幸せだろうか。いや、考えるのをよそ。これも私の人生なのだ。また目頭が熱くなる。  
(投句総数68)

※次号の課題は「闇」です。締切5月20日(水)必着

住所、氏名、雅号もフルネームをご記入下さい。電話番号、作品1人三句以内を、裏表紙にある応募用ハガキでお送りください。応募をお待ちしております。

◆今後の課題「水」 締切6月22日(月)予定



小田 秀 料理探究家

ヘルシー!おしゃれ♥なCaféレシピに定評がある。  
 安全安心な食材を用いた、健康を意識した料理を探究中。  
 料理教室を開催している。管理栄養士、サプリメントアドバイザー、健康運動指導士などの資格を持つ。

吹き抜ける風がなんと心地よく感じられる、さわやかな季節となりました。新キャベツを使った、彩りがあざやかなサラダをご紹介します。

### 新キャベツでミルフィーユサラダ

甘みのあるキャベツとサーモンとチーズの塩味とが好相性! 重ねるだけなので簡単に作れます。

#### ■材 料(2人分)

新キャベツ	……2枚(100g)	※	マヨネーズ	……大さじ1/2
グリーンアスパラ	……3本		プレーンヨーグルト	
新玉ねぎ	……30g			……大さじ1/2
スモークサーモン	……50g		粒こしょう	……少々
スライスチーズ	……3枚		チャービル	……適宜
ゆで卵	……3個			

#### ■作り方

- ① キャベツは軸をそぎ取り、手のひらサイズに切る。アスパラは根元の固い皮をむき、縦半分に切って、さらに長さを半分に切る。玉ねぎは薄切りにする。
- ② キャベツとアスパラは、それぞれ熱湯でさっとゆで、ざるにとって冷ます。キャベツは3等分、玉ねぎ、サーモンは2等分にざっと分ける。
- ③ 四角い容器にラップを敷き、《キャベツ→玉ねぎ→サーモ



- ン》の順に重ねる。《アスパラ→チーズ→スライスしたゆで卵》を並べる。再度《キャベツ→玉ねぎ→サーモン》を重ね、最後にキャベツを重ねる。上からもラップをして押さえ、その上に皿で重しをして、冷蔵庫で1時間冷やす。
- ④ ※は混ぜ合わせ、ソースにする。③を容器から出し、食べやすい大きさに切る。器に盛り、ソースとチャービルを添える。

#### 【お願い】

片面全てにのりを付け、“**全面密着**”でご投函していただきますようお願いいたします。

※「のりしろ」部分に空洞があった場合、郵便ハガキとして受理されない場合がございますので、ご注意ください。

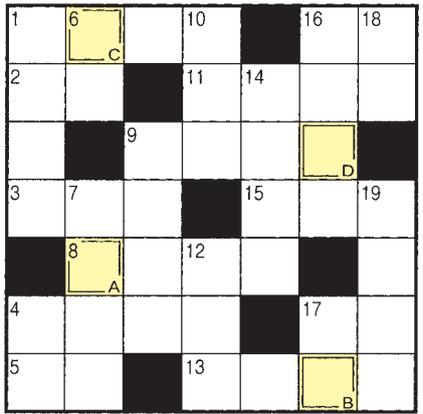
折  
り

のりしろ

# アタマの体操 クロスワードパズル

今月のプレゼントは「プリンスメロン」

二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A B C D

--	--	--	--



4月号の答え  
シヨウブユ

### タテのカギ

- 1 そんなの簡単さ、—前だよ
- 4 6月ごろの長雨のこと
- 6 東京と北京では1時間、東京とモスクワなら6時間
- 7 ラブレターです
- 9 漢字で書くと金糸雀。美しい声で鳴く小鳥です
- 10 学級—の進行で学級会が行われた
- 12 下仁田ネギや水沢うどんで知られる県
- 14 —は210円、往復で420円です
- 16 ホッキョクグマの別名です
- 17 黒、赤玉、鹿沼といえは
- 18 停留所に止まりながら客を運びます
- 19 宴会によく使われる飲食店

### ヨコのカギ

- 1 初夏にピンクや紫色の花を咲かせます
- 2 バンダの餌になる植物
- 3 相撲取りのリングネーム
- 4 煮た小豆に砂糖を混ぜて作ります
- 5 那須与一はこれの名手
- 8 出口の反対語
- 9 湖などの水を取り除いて陸地にすること
- 11 ギリシャ神話の登場人物。鳥の羽根をろうで固めて翼を作り、空を飛びました
- 13 白でひいて粉にした茶
- 15 入院した友人のお—に行った
- 16 『桃太郎』でおじいさんが刈りに行った物
- 17 刀の手で持つ部分

### 応募要項

下記「応募ハガキ」に、クイズの答えをお書きの上、応募締切までに切り取ってポストへ投函するか、各支所へお持ち下さい。  
 ※通常ハガキ・FAX・メール・HPからも応募可能です。クイズの答えの他「良かった記事・住所・氏名・電話番号」をお書きの上ご投函下さい。

- 応募締切 5月26日(火) 当日消印有効
- 応募先 〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
- F A X 0858-23-3070
- Eメール kouhou@ja-tottorichuou.or.jp

※当選は発送をもってかえさせていただきます。※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。



HPでも応募できます



### アンケートにお答えください。

「ドリームちゅうおう 5月号」良かった記事は？(複数回答可)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 表紙              | <input type="checkbox"/> 直売所探検隊           |
| <input type="checkbox"/> 特集              | <input type="checkbox"/> あなたもチャレンジ!家庭菜園   |
| <input type="checkbox"/> ~次代を担う~&旬感!きりり人 | <input type="checkbox"/> 読者からのお便り紹介       |
| <input type="checkbox"/> 女性会・青壮年部の活動紹介   | <input type="checkbox"/> 暮らしをうたう川柳        |
| <input type="checkbox"/> 地域情報発信室         | <input type="checkbox"/> 旬をたべちゃお!おうちでごはん! |
| <input type="checkbox"/> トピックス           | <input type="checkbox"/> クロスワードパズル        |

良かった理由：  
 [ ]

### ●クロスワードパズルに応募される方はお書きください。

(※応募されない方は空欄で構いません。) ※クロスワードの「クロスワードパズル」の答え

A	B	C	D
---	---	---	---

正解者の方には、抽選で「プリンスメロン」をプレゼント致します。

### ●次号のお便りのお題「あなたが楽しみにしている事」を教えてください。また、「暮らしをうたう川柳」への応募、JA鳥取中央グループに対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

[ ]

(ペンネーム: )

※ドリームちゅうおう誌面にて発表することがありますのでご了承ください。

### 郵便はがき

料金受取人払郵便



差出有効期間  
2021年2月  
7日まで  
切手不要

6 8 2 8 7 9 0

倉吉市越殿町1409  
鳥取中央農業協同組合  
総務部 広報課 宛

住所	
氏名	
電話番号	

※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。